

【青森県大鰐町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- (1) 児童生徒自身がICTの特性を最大限に活用し学びのツールとして1人1台端末を自由な発想で適切に活用できるようにし、学習の基盤となる能力・資質である情報活用能力を育成する。
- (2) 児童生徒が自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任をもつことで、情報を正しく安全に利用できるよう情報モラルの向上と情報セキュリティ意識の醸成を図る。
- (3) 将来の予測が難しい社会において、児童生徒自身が情報を主体的に捉えながら何が重要かを考え、見出した情報を活用しつつ他者と協働し、新たな価値を創造し課題解決に臨む能力の習得を目指す。

2. GIGA第1期の総括

GIGA スクール構想の下、本町では令和2年度末に1人1台タブレット端末及びネットワークの整備等を実施した。その後、段階的にデジタル教科書やAI型学習ドリルを導入し効果的な活用を進めるために、教職員を対象に研修会に取り組んできた。令和6年度に学習eポータルソフトを導入し、さらなる学習機会の拡大を図り、児童生徒の学習意欲の向上及び学習環境の整備に努めてきた。また、自宅の通信ネットワークが未整備の児童生徒については、モバイルルータの貸出しを行い学習機会を提供している。

現在は、教職員間でICTの活用度に温度差がある。今後は現状把握に努め、ICT支援員の活用や教員間の研修の実施等について検証改善を進める必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末が破損した場合でも、予備機の運用及び速やかな修繕を実施する体制を構築し、児童生徒の学びを止めることのないように1人1台端末環境を堅持する。

また、AIドリル等を利活用した学習課題への取組等により、児童生徒の理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。授業においては場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

全生徒児童の学びを保障するために、家庭への持ち帰り学習を推進する。また、様々な状況にある児童生徒の学習機会確保のため、その実態に応じ端末を活用した支援を実施していく。